

『#人生スイッチ』（2014年：ダミアン・ジフロン監督）をamazon prime videoで視聴した。2014年のアカデミー外国語映画賞のアルゼンチン代表作品。アンソロジー映画であり、暴力と復讐という共通したテーマを持つ6つの独立した短編で構成されている。

久々に観た痛快な映画である。仕事に疲れた時に観るには最適な映画である。

第一話「おかえし」

モデルの美女が仕事へと向かう飛行機内で音楽評論家と乗り合わせる。そこで美女のかつての恋人Pがクラシック音楽を専攻していた事が話題に挙がり、音楽評論家は過去にPの応募作品を酷評していた過去を振り返る。すると、その話題に前席の乗客が反応し、彼女は小学生時代にPを落第させた教師であることを語る。さらにそれに反応した次の乗客は小学生時代にPをいじめていた同級生であった。さらに次に反応した乗客はPを解雇した店長…これに違和感を覚えた音楽評論家は、他の乗客にもPとの相識を尋ねたところ、ほとんどの乗客が過去のPの知人（Pをやり込めた者）であり、乗客らへの航空券は会社や景品の名義でPから渡されていたことが判明する。そこに怯える女性客室乗務員が現れ、Pがこの航空便の客室乗務員であることを知らせる。彼女はPからの交際を拒否したことで逆恨みされていた。そしてPがこの航空便をハイジャックしたことを一同は知らされる。乗客の一人が彼への説得を試みるも、便は民家に向かって降下していく。そこにいたのは、Pの両親であった…。

自分の人生を破壊した者たちへの命を懸けた復讐・・・恐ろしい。

第二話「おもてなし」

雨の夜に一人の男が来店する。これを応対した若き女給は、その男がかつて自身の家を破産に追いやり、家族の離別と父の死を招いた高利貸しQであったと気付く。それを打ち明けられた中年の女料理人は復讐を提案。料理に殺鼠剤を混ぜようと毒殺を促す。これに葛藤する女給だが、Qが高慢な態度を見せることに憤りを見せる。料理人は毒入りの料理を用意するが、そこにQの息子が現れ、親子で食事を始める。巻き添えに罪悪感を持った女給はこれを制止しようとするが、Qと口論になる。そしてQは料理人に刺殺される。男の息子は救命され、料理人は逮捕される。

ここまでののか・・・

第三話「パンク」（この迫力と真剣さはすごい！必見）

Dは新車に乗り、砂漠の高速道路でドライブをしていた。すると、手前の古びた車が蛇行運転をして進行を妨げる。これに怒ったDは追い抜くとともに古びた車の運転手を侮辱するが、進行先の橋の手前で車がパンクする。そこへ古びた車が追い付き、中から見るからに悪漢が現れる。男はDの新車を破壊して、そのまま立ち去ろうとするが、怒ったDは男を車ごと川岸へ突き落とす。激怒した男は這い上がりDを殺そうとするが、Dはそのまま立ち去ろうとする。だが、男の脅迫に怒ったDは丸腰の男をひき殺そうと車を突進させるが、車ごと川岸に転落してしまう。男はDに執拗な攻撃を加え、Dもそれに対抗する。男はとどめに車へ着火するが、Dがこれを制止しようとするうちに二人は爆発に巻き込まれる。消防車が駆け付けるが、火災原因と二人の焼死体の原因に頭を傾げる。なぜ、こんなところで。

第四話「ヒーローになるために」

爆破解体職人Sは仕事を終え、娘の誕生日会にケーキを購入するため店へ立ち寄ったが、短時間の停車にもかかわらず、自身の車がレッカー移動されてしまう。渋々レッカー代金を支払うSだが、この手続きのために遅刻したことで家族に批判される。次にSは制度の厳しさから自動車局の職員と口論になり、窓口を攻撃。その責任を問われ解雇される。さらにそれまでの不満が爆発したSの妻は離婚を切り出す。孤立したSは、自身の車に爆発物を仕掛け、意図的に放置。レッカー移動先の事務所で爆発が起こる。犠牲者は出なかったものの、これによってSはテロ容疑で逮捕される。一方で、SNSでは取り締まり制度に不満を持っていた人々からこの行為が称賛され、釈放を求める意見が相次いだ。そして収監されたSは妻子からケーキの差し入れを受け、囚人たちと誕生日会を祝った。ここまでやるか・・・ アルゼンチンの駐車状況はそんなに大変なのか？

第五話「愚息」

明け方、地元の有力者であるMにその息子が泣きついてきた。息子が妊婦のひき逃げ事故を起こしてしまい（妊婦が死亡）、大きく報道され、世論が過熱していく。Mお抱えの弁護士の知恵も借りて、途方に暮れたMは使用人Hに、対価をもとに身代わり逮捕を持ちかける。そこへ検察官も聴取に現れるが、立証に不信を顕わにする。これに弁護士は買収を持ちかけるが、Mの生活から高額を吹っ掛け、Hと弁護士も報酬の上乗せを要求し始める。そこへ罪悪感にかられた息子が自白を申し出るが、Hが身代わりとして出頭する。そこには妊婦の夫が殺意を露わにして待ち構えており、Hに凶器を振り下ろす。

賄賂社会でないと成り立たないか・・・

第六話「Happy Wedding」(ハチャメチャぶりがすごい！)

新郎新婦の R と A の披露宴。そこで R は、来客の中に A が懇意にする女性の姿を見つける。これを問いただしたことで A の浮気を知り、R は悲しみに暮れる。怒れる R は A への復讐を宣言する。そのパーティーの最中に A の浮気相手を負傷させた R は来客から出来物のように扱われるが、R の態度に怒りを見せた A は実母とともに彼女へ訴訟を示唆する。さらに喧騒は A と R の親族を巻き込み、A は泣き崩れる。周囲の友人に慰められたあと、A は一人でウェディングケーキに入刀し、R と愛し合うのだった。

こんな結婚のスタートで、果たして幸せになれるのか？

人生の中での不満や不幸を、復讐心に燃えて、壮絶な戦いを仕掛ける場面がスクリーンを覆う。実際にこんな場面に遭ったら災難だが、映画を観ているとクスッと笑ってしまうのである。